



平成 19 年 3 月 1 日

各 位

東京都中央区日本橋兜町 1 番 10 号  
平和不動産株式会社  
取締役社長 金原 策太郎  
(コート番号 8803) 東京・大阪・名古屋・神戸・福岡・札幌  
問合せ先 専務取締役 高橋 宏普  
T E L 0 3 - 3 6 6 6 - 0 1 8 2

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 1 月 31 日の第 3 四半期決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

1. 平成 19 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）  
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	31,304	6,830	4,019
今回修正予想 (B)	31,500	8,000	4,400
増減額 (B-A)	195	1,170	381
増減率 (%)	0.6	17.1	9.5
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	36,599	7,570	4,203

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 31 円 00 銭

2. 平成 19 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）  
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	27,514	6,833	4,032
今回修正予想 (B)	27,400	7,900	4,400
増減額 (B-A)	△114	1,067	368
増減率 (%)	△0.4	15.6	9.1
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	34,975	7,424	4,134

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 31 円 00 銭

### 3. 修正の理由

資産開発・証券化事業部門における開発不動産の売上高と営業利益が予想額を上回る見込みとなったため修正するものであります。また「棚卸資産の評価に関する会計基準」を今期より適用し、今回の修正において特別損失として棚卸資産の評価損約 400 百万円を見込むことにいたしました。

上記の理由により平成 19 年 3 月期連結業績予想を売上高 31,500 百万円、経常利益 8,000 百万円、当期純利益 4,400 百万円に修正いたしました。

個別業績予想の修正につきましても、同様の理由によるものであります。

※業績予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上